

2020年5月7日

ボランティア・社会貢献活動に関わる東洋大学の学生の皆さん

東洋大学社会貢献センター
東洋大学ボランティア支援室

ボランティア活動に関する当面の方針について

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大が続く中、東洋大学では2月27日に「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東洋大学生の行動指針」を、大学ホームページ等を通じて発表しました。また、大学ホームページでは併せて、本学学生の課外活動は春学期末まで原則として中止する旨を発表しています。

また、4月7日には政府より東京都を含む1都7県で緊急事態宣言が発令、後に5月31日まで延長されることになり、ウイルスの感染拡大防止に向け、不要不急の外出を絶対に控えることとする感染拡大防止策の徹底が、国民に対して要請されました。（5月7日現在）

こうしたことを踏まえ、東洋大学社会貢献センター、ならびにボランティア支援室から、ボランティア活動に関わる本学の学生の皆さんに、以下の通り方針ならびに注意事項を示すこととします。

（なお、以下の方針や対象となる期間については、今後の状況に応じて変更されることがありますので、引き続き大学ホームページやToyoNET-ACEからの情報に注目するようにしてください）

① ボランティア支援室 当面の運営方針

- (1) 本学キャンパス閉鎖の方針に伴い、白山キャンパスボランティア支援室は緊急事態宣言の解除まで閉室となります。学生の皆さんの入室はできません。
- (2) 対面でのイベント・講座等の実施、相談対応も、当面の間行いません。
- (3) 相談対応を希望される方は、まずはメールでお問い合わせください。（原則、職員は在宅勤務を行っているため、電話でのお問い合わせもなるべくお控えください）
メールでの連絡時に、希望する相談対応方法（メール、電話、オンラインツールなど）を明記ください。（オンラインツールについては、可能な限りにおいて対応いたします）
※メールアドレス：mlvolsup@toyo.jp
- (4) ToyoNET-ACE「ガクチカサプリ」に情報を掲載していきますので、確認してください。

② 学生の皆さんのボランティア・社会貢献活動について

- (1) 授業の一環として行われるもの以外のボランティア・社会貢献活動は、課外活動としての扱いとなります。大学ホームページにも記されているように、自主イベントや懇親会、キャンパス内での集会等も自粛するようにお願いします。
- (2) 一方、団体内でのミーティングや、新入生歓迎としての説明会の開催などをはじめ、活動をオンラインに移行して継続するボランティアサークルなども見られます。
これまで行ってきた支援活動をオンラインなど、人と会わずに継続できることを模索してみるのも、これまでの活動のあり方をふりかえるという意味においても有益かも知れません。そして、そのノウハウを他のボランティアサークルも参考にできるよう、情報発信を行うのも有益でしょう。

ただし、皆さん自身の健康に留意し、くれぐれも無理のないようにしてください。(オンラインでの活動が断続的に行われることによる疲労の蓄積を感じる、といった声も聞かれます)

- (3) 「コロナウイルスによる外出自粛で、時間を持て余してしまうため、何かできるボランティア活動はありませんか?」という相談も、学生の方からこの間寄せていただきました。自分ができることで自発的に社会に関わろうとする、ボランティアズムに溢れた行動であると思います。

SNSを使った自宅でできる活動や、オンラインで完結できるボランティア・社会貢献活動は、一部見られるもののまだ十分ではないようです。他、活動を続けているNPOなどへの寄付も、間接的な形で関われる社会貢献活動の1つです。

一方、「外に出ない」ということを自発的に選択して、感染を避けることも、ボランティアな行動であると考えられるのではないのでしょうか。いま、社会において望まれる「3密」を避ける暮らし方、自宅でじっくり本やネットを使った勉強をして、知識を増やすこともまた、現状においては大学生の「社会貢献」といえるのかも知れません。

ボランティア活動は本来、まさしくこのような世界的な困難と言われる状況下において生じる社会課題の解決や、社会的排除のさなかにある人に寄り添うべき活動ですが、この度のウイルス禍は人と人との接触を可能な限り避けなければならないという、極めて難しい状況を生み出しています。そしてこのことは、さまざまな分断を生み、外出自粛のストレスなどから差別的な誹謗中傷に発展する事例も残念ながら見られます。

本学の創立者・井上円了が提唱した教育理念は、①自分の哲学をもつ、②本質に迫って深く考える、③主体的に社会の課題に取り組む、ということです。今回のコロナウイルスによって思わぬ形で生まれた時間を活用して、「なぜ、ボランティア活動に関わるのか」「私は、どんな社会を望むのか」ということを本質的に考えてみるのも有益なことと思います。

コロナウイルスが収束した先において、皆さんはどのような社会を望みますか?その時に向けて、皆さんはどう考え行動しますか?

活動が再開できるようになるまでの間に、何か相談したいことがありましたら、ボランティア支援室までお寄せください。

コロナウイルスが収束し、皆で集まれるようになったら、ぜひ皆さんでボランティア支援室に元気な顔を見せに来てください。また一緒に活動できる日を、心待ちにしています。

以上